



エリザベス・ブルシエとクリストフ・パロン



プロダクション・スタジオ

ノーガールズ グルナッシュ・ラ・パシエンシア・ヴィンヤード 2017



No Girlsは、「活力ある女性が活力ワインを生み出す」という信念のもと、この業界やその他の分野で活躍する多くの才能ある自立した女性たちを称えています。

このワインは、カユースのアシスタント・ヴィニュロンヌであるエリザベス・ブルシエによって造られています。2008年にカユースのワイン栽培家、クリストフ・パロンと共同でファースト・ヴィンテージ造った後、2011年ヴィンテージ以降は、ワイン造りのすべての面で全権を委任されています。そのワインは、ワインスペクテイター誌で「これまでに評価された最高のワシントンワインのいくつか」と評されるなど、常に高い評価を得ています。

ブドウは、スペイン語で「忍耐」を意味するラ・パシエンシアの畑から収穫されています。これは、このプロジェクトが10年の長い歳月をかけて完成したことを意味しています。

ワラワラ・ヴァレーの石の土壤に斜めに植えられた密な間隔のブドウのは、ノーガールズに独自の個性を与え、ワインは凝縮して純粋です。

このワインは、フィネス、エレガンス、魅力、そして個性を反映した、料理に合わせやすい作品です。歴史的に、女性はワイン造りの重要なプロセスから除外されてきました。それは、ワイン造りは「男性の仕事」であるという厳格な社会的な考えがあったからです。ノーガールズは、女性の強さと回復力を原動力とした新しいストーリーをもたらします。そしてその名が示すように、モダンで、意志をもつパワフルなワインです。

<なぜこの名前なのか？>

No Girls という名前は、ワラワラの華やかで活気に満ちた歴史にちなんだものです。アメリカの西部開拓時代では一般的なことでしたが、成長中のコミュニティではボーデロ（売春宿）が自由に営業していました。しかし、時代が変わり、女性参政権運動が始まると、売春宿は閉鎖されて行きます。2002年、クリストフ・パロンは、かつてそのような売春宿が入っていたダウンタウンのビルを購入しました。扉を開けると、そこには不気味なまでに昔のままの光景が広がっていました。広々とした階段の上には、1960年代に壁に描かれた「No Girls」の文字が残っていたのです。この言葉は、女性のエンパワーメント（能力開花）が疎外され、損なわれていた時代の終わりを意味し、女性の権利の時代の幕開けを表しています。

No Girls は単なるワインではありません。女性の強さ、歴史観、進歩的な思想、そして"Savoir Faire 機転の良さ"が原動力となっています。No Girlsという名前は、建物やそのカラフルな遺産だけでなく、私たちの豊かな歴史を認識し、今日のワラワラを作り上げたすべての人々に敬意と感謝を示すものです。

品種：グルナッシュ

JANコード：なし

希望小売価格 ¥ 20,000 (税込 ¥ 22,000)